

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

2024年10月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

今月は2つの話を書きます。

校長 松村 一人

①「全員が身を乗り出して夢中になっている」授業の実践

9月6日に東京大学名誉教授の佐藤学先生をお招きして、今年度2回目の「学びの共同体」の授業研究会（公開授業）を行いました。一昨年の2学期からスタートした「学びの共同体」ですが、ちょうど2年となりました。今回も3，4時間目は全教員による公開授業を行い、5時間目には焦点授業として、柏原健吾教諭の1年4組の英語の授業を体育館にて公開しました。佐藤学先生からは、次の様な評価をいただきました。

- ① 素晴らしいです。毎回来るたびに生徒たちの姿がぐんぐん良くなっています。3年生がとてもいいです。2年生がとても安定していますし、探究的に学び合える子どもたちに育ちつつあります。1年生もいいです。繋がりがよく、希望が持てます。
- ② この学校が学びの共同体の改革を開始したのは2年前ですが、2年間で学びの共同体は学校文化になっています。（最初に訪問した2年前は、ほとんどの生徒の腕が机の下でしたが、今はそういう生徒は一人もいません。）
- ③ 先生方の学びのデザインも向上しています。
- ④ この学校には特別支援学級はないので、完全にインクルージョンの教育を行っていますが、どの生徒も一人にならず、学びに困難な生徒も仲間に支えられてよく学んでいます。

そして、佐藤学先生からは「第12回学びの共同体国際会議」において、3年生の公立高校の受検も終わった2月28日に、本校と川口市立北中学校に学校訪問をして、授業を公開して欲しいと要請されました（参観者は100人限定）。昨年度は31の国や地域から2100名以上が参加した、教育関係の会議では世界最大の会議だそうです。世界中の人達から、授業を見ていただく機会を得ることになりました。有り難い限りです。

②「勤務時間内に部活動を終了させること」

9月26日の川口市立学校長会議において、井上教育長から、「学校教育活動の一環として位置づけられる部活動は、勤務時間内に終了させることが原則」とのお話をいただきました。私としては、「昨年度の1月の臨時学校だより」に、『もう昔の部活動はなくなっていくでしょう。そして、学校としても教育委員会の指導の下、近い将来、勤務時間を超えた部活動はできなくなっていくます。先生方の命と健康を守るために、勤務時間外に部活動の指導で先生方を拘束することはできなくなるのです。』と書きましたので、「見通しは正しかった」と思っています。